

2002年10月7日

## 「個別換気ケージの独占販売権を獲得」について

エルエスジー株式会社

イーピーエス(株)(ジャスダック 4282: 巖浩社長)の関連会社で非臨床試験関連ビジネスを手掛けるエルエスジー(株)(東京都新宿区: 高田明社長)は、イタリアのテクニプラスト社の個別換気ケージの独占販売権を獲得、10月中旬より日本での本格的販売に乗り出す。

近年来、ゲノム研究の振興に伴い、トランスジェニックマウス(遺伝子組み替えマウス)やノックアウトマウス(遺伝子欠失マウス)等を使用する研究が増加している。

トランスジェニックマウス等、遺伝子操作を行っている動物を研究、実験の目的で飼育または繁殖する際に、最も注意しなければならないのは、室内の動物間のウィルス等の相互感染。一旦、感染が起きると、高価かつ希少なマウスを、全頭犠牲にする事態にもなりかねない。実際に、日本の研究施設でも過去にそのような事故の例も報告されている。

このような遺伝子操作動物間の相互感染を防止するために、現在、欧米では個別の飼育ケージ毎に密封した状態で、給排気装置を用いて換気を行い、外界と遮断して個別ケージ毎のバリアシステムを作るのが主流となっている。特に、ゲノム研究で先行する米国では、小ロット、多様な系統のトランスジェニックマウス、ノックアウトマウスを大量に飼育する公的研究機関が増えてきており、そのほとんどの施設で、個別換気ケージシステムが採用されている。

日本ではまだ個別換気ケージの普及は遅れているが、ゲノム研究、特に創薬に関連する遺伝子研究ではトランスジェニックマウス等の使用は欠かせず、今後、日本でも需要の増大が期待できることから、エルエスジー(株)は、この度個別換気ケージの売上で、世界トップスリーの一角を占めるイタリアのテクニプラスト社との総代理店契約に踏み切った。テクニプラスト社は、欧州市場でトップシェアを誇る。

同社製品の強みは、密封状態のケージの中の動物に最適な換気方法を採用していることその他に、実験作業者の健康のため、アレルギーの防止に最大限配慮するとともに、作業の負

荷をできるだけ軽減するよう器材が設計されていること。これらが可能なのも、イタリアの自社工場で、金型の設計、製作から、最終製品まで一貫して自社で生産しているため。

エルエスジー（株）は、イーピーエス（株）の関連会社で、本年 1 月、豊田通商（株）より同社ライフサイエンス部門の営業譲渡を受け、特に、非臨床試験関連のビジネスで強みを発揮している。同社は、日本での販売開始にあたり、実験器材の販売に実績があるハムリー（株）および（株）アニメックと販売提携契約を締結、3 社協力の上、大学の研究施設、公的な研究機関および製薬会社の創薬研究所を主たる対象として販売促進活動を行う。

エルエスジー（株）の 2003 年 9 月期売上は、15 億円、テクニプラスト社の個別換気ケージの売上は、3 年後に 3 億円を見込む。

[ 問合せ先 ]

**エルエスジー株式会社**

**遠藤容廣**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36 S&S ビル

電話 : 03-3513-6533

ファックス : 03-3513-6535